

Product Data

防火戸用指定シーリング材(日本シーリング材工業会指定)
建築・土木用2成分脱ヒドロキシルアミン型シリコーンシーリング材

トスシール 361

JSIA-007001
F☆☆☆☆

トスシール361は、建築・土木用2成分脱ヒドロキシルアミン型シリコーンシーリング材で、耐久性、耐候性に優れ、モジュラスが低く伸びが大きいのが特長です。しかも、トスシール361は建築用シーリング材として優れた特性をもち、JIS A 5758のタイプGおよびF、クラス25LMに適合し、耐久性区分10030です。

JIS適合品(JIS A 5758「G、F-25LM-10030 (SR-2)」)

日本シーリング材工業会指定 防火戸用指定シーリング材 指定番号 05-03

特 長

- 作業性に優れています。
- 温度に左右されず、混合しやすく施工性に優れています。
- モジュラスが低く、大きな伸びを示します。
- ジョイントの動きの大きいメタルカーテンウォールなどに最適です。
- 引裂きに対する抵抗性が優れています。
- 温度によって特性変化がほとんどありません。
- 四季を通じて安定な性能を示します。
- 耐候性、耐久性に優れています。
- 耐オゾン、耐紫外線性に優れ、経年によって硬くなることはありません。また、繰り返し応力を受けてもほとんど疲労しません。

用 途

- カーテンウォール工法などの可動目地シール
メタル、PC、ホーロー、フレキシブルボード、インシュレーションボード
- 不動目地シール
レンガ、タイル目地
- ガラスまわり、サッシまわりのシール
- プレハブ接合ジョイントシール
- 土木工事
道路ジョイントなど

特性例

JIS A 5758に基づく性能試験結果

項 目		特性値
タイプ		G、F
クラス		25 L M
スランプ mm	縦	0
	横	0
弾性復元性 %		91
引張特性 N/mm ²	23°C	0.2
	-20°C	0.2
定伸長下での接着性		破壊なし
圧縮加熱・引張冷却後の接着性		破壊なし
人工光暴露後の接着性		破壊なし
水浸せき後の定伸長下での接着性		破壊なし
圧縮応力 N/mm ²		0.2
体積変化（体積損失） %		1.5
耐久性		10030に合格

(注) 接着条件：被着体…アルミ プライマー…トスプライムニューF

硬化前の特性

(JIS A 1439)

項 目		特性値
外観	基剤	ペースト状
	カラーマスター	ペースト状
	硬化剤	液状
混合比 (質量比)	基剤	93
	カラーマスター	7
	硬化剤	3
比重 (23°C)		1.27
可使時間* h	5°C	10
	23°C	3 (2)
	35°C	1.5 (1)
タックフリー (23°C) h		6
押し出し性 (5°C) s		5
プライマー使用の要否		要

(注) *：なるべく()内に示す時間内に作業を完了してください。

硬化後の特性

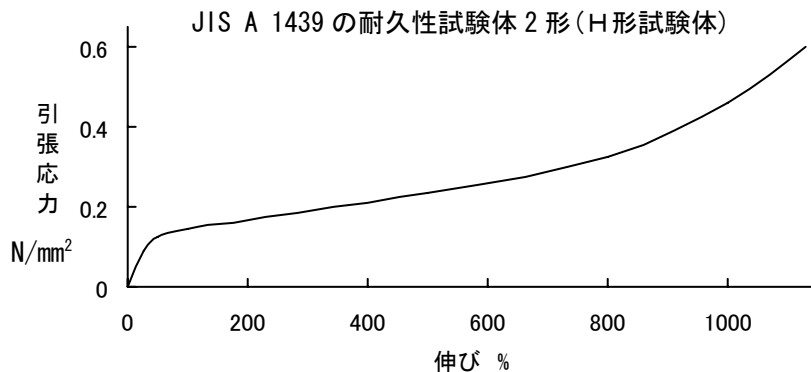
(JIS A 1439)

項目		特性値	
		ガラス	アルミ
被着体			
50%引張応力 N/mm ² {kgf/cm ² }	養生後	0.13 {1.3}	0.13 {1.3}
	加熱後(100°C, 14日)	0.15 {1.5}	0.15 {1.5}
	水浸せき後(23°C, 7日)	0.12 {1.2}	0.12 {1.2}
	促進暴露後	0.13 {1.3}	—
最大引張応力 N/mm ² {kgf/cm ² }	養生後	0.60 {6.1}	0.58 {5.9}
	加熱後(100°C, 14日)	0.58 {5.9}	0.55 {5.6}
	水浸せき後(23°C, 7日)	0.59 {6.0}	0.57 {5.8}
	促進暴露後	0.56 {5.7}	—
最大荷重時の伸び %	養生後	1,130	1,110
	加熱後(100°C, 14日)	1,060	1,060
	水浸せき後(23°C, 7日)	1,140	1,130
	促進暴露後	1,070	—
破壊時の伸び %	養生後	1,150	1,120
	加熱後(100°C, 14日)	1,070	1,080
	水浸せき後(23°C, 7日)	1,170	1,160
	促進暴露後	1,100	—
凝集破壊率* %	養生後	100	100
	加熱後(100°C, 14日)	100	100
	水浸せき後(23°C, 7日)	100	100
	促進暴露後	100	—

(注) プライマー：トスプライムニューF

*：薄層破壊を含む

応力—ひずみ曲線



設計伸縮率、設計せん断変形率

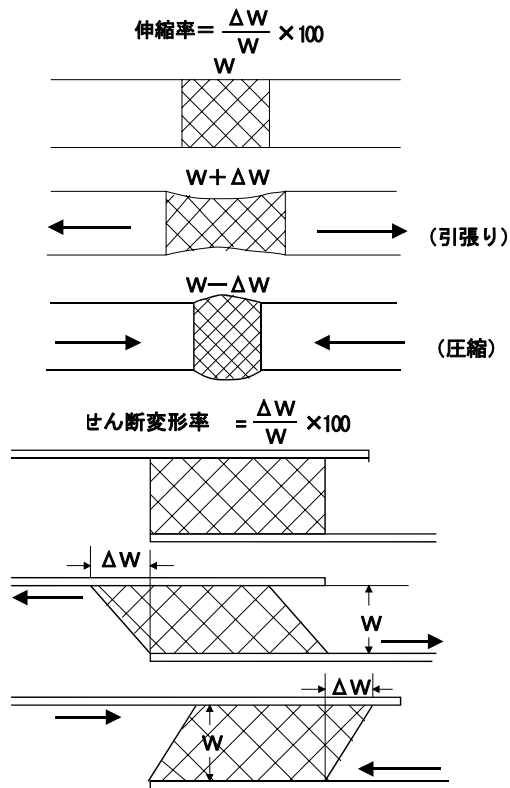
トスシール361の設計伸縮率、設計せん断変形率は下記の数値を採用してください。

伸 縮 %	M1	20
	M2	30
せん断 %	M1	30
	M2	60

(注) M1：温度による伸縮を考慮する場合。

M2：風、地震による伸縮を考慮する場合。

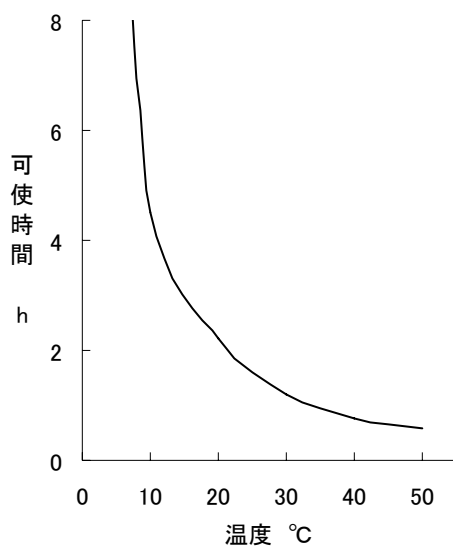
なお伸縮率、せん断変形率の定義を図示すると下記のようになります。



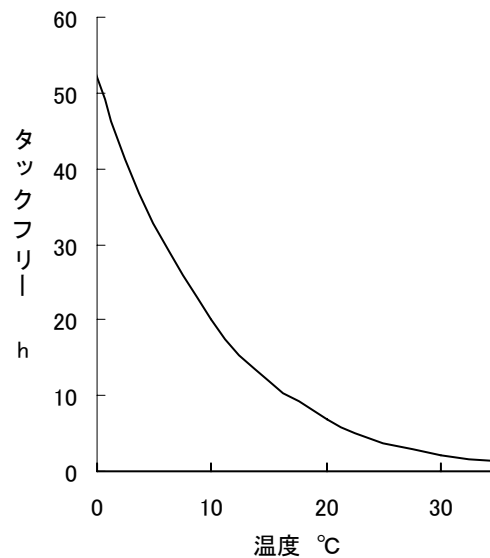
温度と可使用時間、タックフリー、硬化日数の関係

可使用時間、タックフリー、硬化日数などは温度により変化し、その目安を示すと下図のようになります。

温度と可使用時間の関係 (湿度 50%RH)

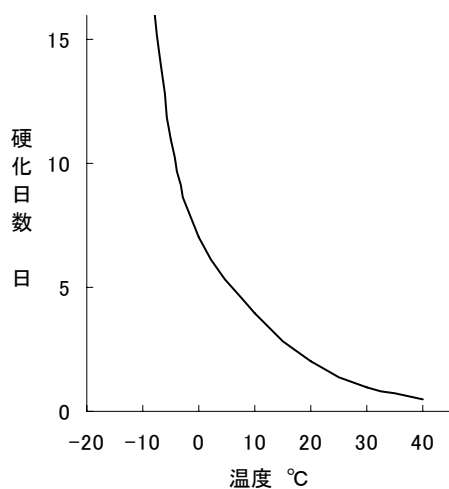


温度とタックフリーの関係 (湿度 50%RH)



温度と硬化日数の関係 (湿度50%RH)

JIS硬度計(タイプA)により、硬さが8になるまでの日数 (完全硬化 硬さ : 14)



プライマーの被着体別選択表

被着体		プライマー
モルタル・石材	モルタル*1	トスプライムC
	A L C	トスプライムC
	大理石*2	トスプライムC
	みかげ石	トスプライムC
	スレート板	トスプライムC
ガラス・陶器	ガラス	トスプライムニューF
	熱線反射ガラス	トスプライムニューF
	高性能熱線反射ガラス	トスプライムニューF
	タイル	トスプライムニューF
金属	アルミニウム	トスプライムニューF
	2次電解着色アルミニウム*3	トスプライムニューF
	ブリキ	トスプライムニューF
	トタン	トスプライムニューF
	軟鋼	トスプライムニューF
	ステンレス SUS 304	トスプライムニューF
塗料・塗装金属	焼付アクリル系 (デュラクロン)	トスプライムニューF
	常乾アクリルウレタン系 (アクレタン)	トスプライムニューF
	常乾ウレタン系 (Vトップ)	トスプライムニューF
	焼付ウレタン系 (Vクロマ)	トスプライムニューF
	エポキシ系	トスプライムニューF
	フッ素塗料 (デュフロン)	トスプライムニューF
	フッ素塗料 (ニューガーマット)	トスプライムニューF
	アクリル電着塗装	トスプライムニューF
プラスチック	FRP	(トスプライムニューF)
	硬質塩ビ樹脂	トスプライムニューF
	ポリカーボネート	—
	アクリル樹脂*4	トスプライムニューF・トスプライムD
	エポキシ樹脂	トスプライムニューF
	メラミン樹脂	トスプライムニューF
	フェノール樹脂	トスプライムニューF
	ナイロン	トスプライムニューF
A B S 樹脂	トスプライムニューF	
シーリング材	ポリサルファイド	トスプライムニューF
	トスシール361	無処理
	トスシール371	無処理
	トスシール381	無処理

ゴ ム	CR	(トスプライムニューF)
	NBR	(トスプライムニューF)
	SBR	(トスプライムニューF)
	EPR	(トスプライムニューF)
木材		(トスプライムC)

注) *1: モルタルのはく離剤の種類により接着性が異なることがあり、確認試験が必要です。

*2: 大理石には、プライマー無処理では使用しないでください。染み出し汚染が発生することがあります。

*3: 封孔処理などにより接着性が異なることが予想されますので、必ず確認試験を行ってください。

*4: 下地の清掃には、ノルマルヘキサンを使用してください。また、事前にソルベントクラックの有無確認および接着性確認試験が必要です。

- 1) ・で示したものは、どちらもほぼ同等の接着効果を示します。
- 2) ()内は、接着性能が不十分ですが現時点で最良のものです。
- 3) —は推奨できない組み合わせです。

なお、異種被着体の組み合わせで共通のプライマーがない場合(上表で)、必ずプライマーを塗り分けてください。

プライマーの選択には、十分な注意を払ってください。安全を期するために、そのつど接着性の確認試験を行ってください。

上記以外の被着体については、弊社にお問い合わせください。

トスシール361用のプライマー

トスシール361の使用にあたっては、必ずプライマーを使用してください。

製品名		トスプライムC	トスプライムD	トスプライムニューF
項目				
外観		淡黄色透明	淡黄色透明	無色透明
比重 (25℃)		0.99	0.86	0.87
乾燥時間 min		60	30	30
対象被着体		モルタル、石、木材 など多孔質用	アクリル樹脂用	一般、ガラス、塗料、 アクリル系電着塗装
成分		シリコン変性ウレタン系	シリ系	シリ系
溶剤		酢酸 ^o フィル	アセトン、IPA、トルエン	トルエン
荷 姿	容量ml	300	300	300
	容器	缶	缶	缶
標準施工面積 m ² /L		5~10	40~60	40~60

プライマー使用上の注意 : プライマーは溶剤を含んでいますので、火気に注意してください。
プライマーの梱包単位 : 300ml 缶入り、20個/1ケース

使用方法

トスシール361は基剤、硬化剤および別包装のカラーマスターがセットになっています。施工の手順を示すと次のようになります。

1) 施工面の調整

まず目地の清掃を十分に行ってください。施工部の汚れは適当な溶剤で清掃した後、よく乾燥させてください(溶剤としてアルコールの使用は避けてください。乾燥が不十分の場合硬化不良を起こします)。

ついでバックアップ材の挿入、マスキングテープ貼り、プライマー処理を行います。なお、プライマーは必ずご使用ください(特殊部材についてはご相談ください)。

2) 混練

硬化剤、カラーマスターは適量がセットになっていますので、同時に全量を基剤に配合してください。混練は、真空脱泡装置付きドラム回転式混練機の使用を推奨します。混練は10分～15分行ってください。

3) 押し出しガンに充てん

一般のコーキングガンに、気泡が入らぬように気をつけながら充てんしてください。

4) 施工

施工可能な時間は常温で2時間以内ですが、できるだけ速やかに施工してください。

5) 仕上げ

ヘラ押さえを十分に行い、マスキングテープをはがして作業が完了します。

使用上の注意

- 施工後期間がたちますと、ホワイトは多少黄変することがあります。
- 未硬化のものは刺激性がありますので、目や口に入れないよう、また皮膚に長く付着したままにしないよう、ご注意ください。
- 上水道関連施設(配水池、浄水場など)の目地シールについては、関連する規格等がないため、安全性、性能等について一切保証できませんので、本製品の使用は避けてください。
- 一部の合成ゴム(EPT、クロロプレンなど)と接触するとシーリング材が変色することがありますので、ご注意ください。
- アルコール雰囲気中では硬化不良になることがありますので、注意してください。
- 取扱い時には、保護眼鏡および必要に応じて保護手袋を着用してください。

- 換気のよい所でご使用ください。
- 外壁目地などに使用すると目地周辺が汚れることがありますのでご注意ください。
- 塗料は、のらないので注意してください。

保 管

- 直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 有効期間は、未開封・常温(5~25℃)保管で、製造後6ヵ月です。
- 子供の手の届かない所に保管してください。

消防法

- 基剤 : 危険物非該当。消防法上、指定可燃物の合成樹脂類に該当するため、3t以上保管する場合、届け出が必要です。
- 硬化剤 : 危険物第4類第2石油類
- カラーマスター : 危険物非該当。消防法上、指定可燃物の合成樹脂類に該当するため、3t以上保管する場合、届け出が必要です。

UU荷姿・梱包

荷 姿	容 量	セットの内容
丸缶	4Lセット(4L×2缶/1ケース)	基剤、硬化剤
フィルムパック入り	20個/1ケース	カラーマスター

色

色	カラーサフィックス
ホワイト	-W
アイボリー	-W4
ライトグレイ	-G36
ニューグレイ	-G65
グレイ	-G
ダークグレイ	-DG
ベージュ	-BE
ダークブラウン	-A6
ブラック	-B

カラーマスターの日本シーリング材工業会ホルムアルデヒド汚染対策自主基準に関する表示: JSIA-007013 F☆☆☆☆

-
- ・本製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合は、貴社にてその安全性を事前にご試験ご確認のうえご使用ください。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。
 - ・記載のデータは、弊社の試験方法による実測値の一例で、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。なお、本文中の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。
 - ・製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。
 - ・安全性に関する詳細な情報につきましては、製品安全データシート (MSDS) をご参照ください。
 - ・本資料を転載される場合は、弊社までご連絡ください。
 - ・仕様書を要求される場合は、営業を通してお求めください。
-

MOMENTIVE™

モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社

<http://www.momentive.jp>

テクニカルアンサーセンター	TEL. 0276-20-6182, 0120-975-400	FAX. 0276-31-6259
東京本社 (営業)	TEL. 03-5544-3111 (代)	FAX. 03-5544-3122
大阪支店	TEL. 06-6251-6272 (代)	FAX. 06-252-8255
名古屋支店	TEL. 052-962-5731 (代)	FAX. 052-962-5750
九州営業所	TEL. 092-741-0840 (代)	FAX. 092-741-0841